Contents

問題編

Part 1　ストラテジ系 …… 2
Part 2　マネジメント系 ……115
Part 3　テクノロジ系 ……191

解答・解説編

Part 1　ストラテジ系 ……346
Part 2　マネジメント系 ……431
Part 3　テクノロジ系 ……483

問題集の生きた使い方は？

演習1−8 □□□

問題No.の右側にある□□□は、たんなるデザインではありません。この問題集を少なくとも3回解いていただきたい、という執筆スタッフの“強い”願いを表したものです。

□□□を、学習の中に有効にとり入れる方法を提案しておきます。

問題集は3巡しよう

1巡目

1. 問題に目をとおし、もしわからなかったら、すぐに答えを見ます。
2. □に×を入れます→☒□□

① 計算問題は→解説を読みながら、計算過程を追って自分の手を動かす。

② 用語問題は→問題文と解答（符号ではなく正しい語句）をペアで覚える。

③ 正誤問題は→解答と解説を見て、どこがまちがっているのかを理解する。

④ 適用問題は→解説を読んで、問題文に示されている手順を理解する。

☆ 解説でもわからないときは、別冊の「テキスト」にもどる。

2巡目

・ ☒のついた問題だけを、①〜④の要領で解いていきます。

・ 解けなければ2つ目の□に×を入れます。→☒☒□

3巡目

・ ☒☒の問題を解いていきます。

・ 解けなければ3つ目の□に×を入れます。→☒☒☒

！試験直前

みなさんは、もうほとんどの問題が解けるようになっています。試験の直前対策として、☒☒☒の問題だけを解いてみましょう。

本書の特徴と構成

▶はじめて学習する人・・・

典拠が ITパスポート の問題を解いて合格圏内を目指します。iページにあるとおり、もしわからなかったら、すぐに答えを確認して、次の問題へと進みましょう。

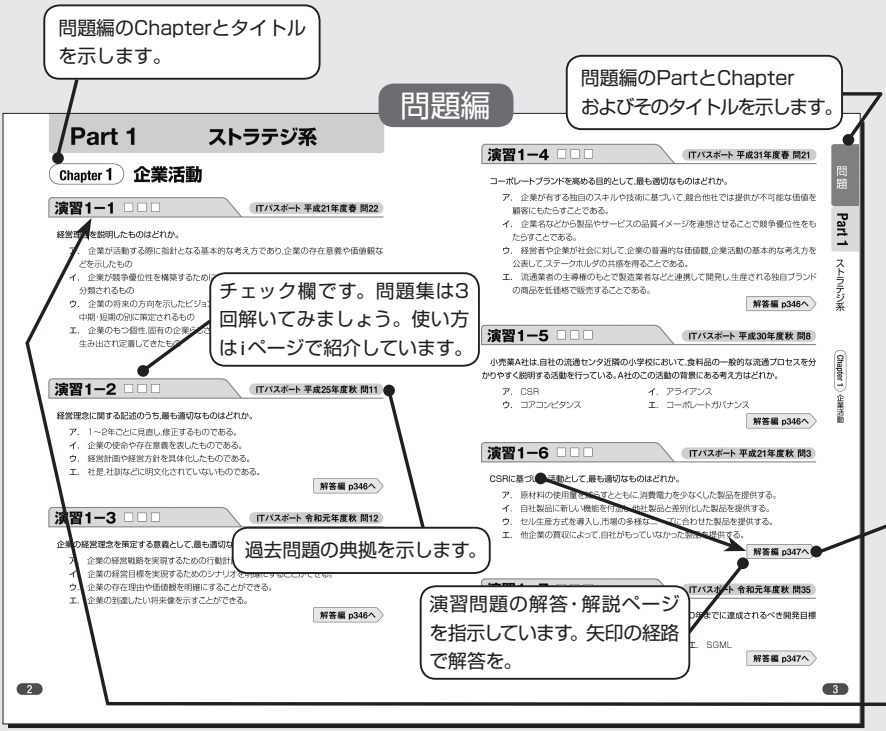
▶学習経験のある人は・・・

苦手なテーマが明確な場合は、そのテーマを重点的にトレーニングしましょう。

▶この問題集だけで十分に合格圏内ですが･･･

体系的に学びたい人は「はじめてのITパスポート 合格テキスト＆例題」で基礎から。
基礎力に自信のある人はこの１冊で合格を確実に。

▶コマギレ学習の積み重ねで学力がつくレッスン構成



解答・解説編のChapterとそのタイトルを示します。

解答・解説編のPartとChapterおよびそのタイトルを示します。

解答・解説編

Part 1　ストラテジ系

Chapter 1　企業活動

演習1−1　➡別冊テキストP.2

解答− イ
ア、経営資源に関する記述です。
ウ、経営計画に関する記述です。
エ、企業文化（経営風土）に関する記述です。

演習1−2

解答− イ
ア、経営計画に関する記述です。
ウ、経営課題に関する記述です。
エ、社風に関する記述です。

演習1−3　➡別冊テキストP.2

解答− ウ
ア、経営計画を策定する意義です。
イ、経営戦略を策定する意義です。
エ、経営目標を策定する意義です。

演習1−4　➡別冊テキストP.2

解答− イ
ア、コアコンピタンス経営の目的です。
ウ、CSR活動の目的です。
エ、プライベートブランド戦略の目的です。

演習1−6　➡別冊テキストP.2

解答− ア
CSR（Corporate Social Responsibility）とは、「企業の社会的責任」と訳され、企業は利益の追求や必要最低限の法令遵守だけでなく、消費者への適切な対応や環境への配慮、地域社会への貢献などを意識した活動を行う必要性があるという考え方です。

演習1−7　➡別冊テキストP.2

解答− ア
イ、SDK（Software Development Kit）は、一つのアプリケーションを開発するために必要なプログラムや仕様などの開発ツール群を意味します。
ウ、SGA（System Global Area）は、Oracle Databaseにおけるデータベースシステム全体で共有するメモリ領域の呼び名です。
エ、SGML（Standard Generalized Markup Language）は、文書の構造や意味を定義するマークアップ言語です。

演習1−8　➡別冊テキストP.4

解答− ウ
POCAは、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Act）のプロセスを順に実行し、品質の維持向上、業務改善に結びつける方法です。

演習1−9　➡別冊テキストP.5

解答− ア
BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）は、大規模な災害などによって、企業活動を支える重要な情報システムに障害が発生したような場合でも、企業活動の継続を可能にするために、あらかじめ策定する計画です。

解答の符号はすべてこの位置に。

解説部分には、正解の選択肢を説明したものと、不正解の選択肢を説明したものの2種類があります。なお、1問ごとに独立しているため、同じ主旨の問題や選択肢には、同じ表現の解説をしているものがあります。

別冊のテキストへのフィードバックを指示します。指示ページから例題までが関連する範囲です。

テキスト

Chapter 1
企業活動

1　経営・組織論

1　企業活動と経営資源

企業は、多くの人間が共通の価値観のもとに有機的に結びついた組織体です。この共通の価値観を企業理念（経営理念）と呼びます。企業は、企業理念と人・物・金・情報の経営資源に基づいて中長期的な経営戦略を立て、現状を分析し、経営課題を発見して、これに基づいて短期的な経営目標を設定し、経営目標に基づいて経営計画を立案、活動することになります。

企業活動は、単に法令や社会規範に遵守していれば良いだけではなく、顧客や取引先、地域社会、株主、従業員などのあらゆるステークホルダ（Stakeholder：利害関係者）からの要求に対して適切な説明と積極的な情報開示（ディスクロージャ：Disclosure）を行う必要があります。そうすることで、コーポレートブランドを高め、競争優位性を図ることができます。

また、省電力化など環境への負荷の低減を図るグリーンITの推進など、環境や社会からの要請に対する責任（CSR：Corporate Social Responsibility）を果たす必要があります。更には、2015年に国連で採択された持続可能な世界を実現するために2030年までに達成されるべき17の開発目標（「貧困をなくそう」、「飢餓をゼロに」、「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」など）を示すSDGs（Sustainable Development Goals）という社会的な課題に事業を通じて取り組む必要があります。

例題 1-1　ITパスポート　平成22年度秋　問22　出題頻度 ●●●

CSRの説明として、最も適切なものはどれか。

ア、企業が他社の経営の仕方や業務プロセスを分析し、優れた点を学び、取り入れようとする手法
イ、企業活動において経済的成長だけでなく、環境や社会からの要請に対し、責任を果たすことが、企業価値の向上につながるという考え方
ウ、企業の経営者がもつ権力が正しく行使されるように経営者を牽制する制度
エ、他社が真似のできない自社ならではの価値を提供する技術やスキルなど、企業の中核となる能力

ポイント
企業活動において
CSRは重要な課題だよ!

解説
ア、ベンチマーキングに関する記述です。
ウ、コーポレートガバナンスに関する記述です。
エ、コアコンピタンスに関する記述です。

解答− イ

やってみよう!
演習ドリルを解いてみよう。　別冊 問題集 1-1〜7

パワーアップ&チャレンジ
関連知識を身につけよう。

「パワーアップ&チャレンジ」には、試験範囲に含まれてはいるが出題実績がない項目をまとめた!参考として見てください!

③SRI（Socially Responsible Investment：社会的責任投資）
SRIは、財務評価だけでなく、社会的責任への取組みも評価して、企業への投資を行う

別冊のテキストで学習される方は、この部分で演習問題をさがしてください。

ITパスポートの役割と試験の概要

この欄に掲載する資料は、2007年12月に発表された独立行政法人 情報処理推進機構 新試験制度審議委員会 レベル1試験ワーキンググループによる報告書「情報処理技術者試験／ITパスポート試験の手引」より抜粋したものです。原文で「現行試験」となっている部分を「従来の試験」に言い換えています。

ITパスポート試験の創設について

今や情報技術は我が国の社会基盤になりつつあり、業種・職種を問わずあらゆる企業において、情報技術抜きには企業や組織の活動が語れないほど重要な役割を担うようになってきている。

このような状況の中で職業人として活動していくには、パソコンの操作ができる、パソコンを使ってデータの処理ができるといったことに加えて、情報技術の潜在力を自らの業務に積極的に活用し、どのように付加価値を生み出していくかという視点が、すべての職業人に求められる。職場における問題点を把握・分析し、これを解決するためには情報技術をどのように活用すればよいのかについても理解していることが期待される。さらに、ネットワーク社会において安全に活動するための知識や、企業のコンプライアンス向上に資するための知識を備えておくことなども、これからの職業人にとっては必須である。

このような点を勘案し、職業人として誰もが共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を測るレベル1の試験を新たに創設し、IT人材の裾野を広げることにより、我が国全体の情報技術の活用能力を高めていくことを目指すこととする。

試験の対象者像

対象者像	職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識をもち、情報技術に携わる業務に就くか、担当業務に対して情報技術を活用していこうとする者
業務と役割	職業人として備えておくべき、情報技術に関する共通的な基礎知識を習得した者であり、担当する業務に対して情報技術を活用し、次の活動を行う。 ①利用する情報機器及びシステムを把握し、活用する。 ②担当業務を理解し、その業務における問題の把握及び必要な解決を図る。 ③安全に情報の収集や活用を行う。 ④上位者の指導の下、業務の分析やシステム化の支援を行う。

期待する技術水準	職業人として、情報機器及びシステムの把握や、担当業務の遂行及びシステム化を推進するために、次の基礎的な知識が要求される。 ①利用する情報機器及びシステムを把握するために、コンピュータシステムやネットワークに関する知識をもち、オフィスツールを活用できる。 ②担当業務を理解するために、企業活動や関連業務の知識をもつ。また、担当業務の問題把握及び必要な解決を図るために、システム的な考え方や論理的な思考力をもち、かつ、問題分析及び問題解決手法に関する知識をもつ。 ③安全に情報を活用するために、関連法規や情報セキュリティに関する各種規定に従って活動できる。 ④業務の分析やシステム化の支援を行うために、情報システムの開発及び運用に関する知識をもつ。
レベル対応	共通キャリア・スキルフレームワークの5人材像 （ストラテジスト、システムアーキテクト、サービスマネージャ、プロジェクトマネージャ、テクニカルスペシャリスト） のレベル1に相当

試験の構成

①試験時間	■2016年3月5日実施の試験から　120分
②出題形式	多肢選択式（四肢択一）
③出題数	■2016年3月5日実施の試験から 小問形式：100問
分野別出題数の内訳	ストラテジ系35問程度、マネジメント系20問程度、テクノロジ系45問程度 総合評価は92問で行い、残りの8問は今後出題する問題を評価するために使われます。また、分野別評価の問題数は次のとおりになります。 ストラテジ系32問、マネジメント系18問、テクノロジ系42問

配点・採点方法・合格基準

①配点	1,000点満点
②採点方法	IRT（Item Response Theory：項目応答理論）に基づいて解答結果から評価点を算出する。
③合格基準	総合評価点：600点／1,000点満点 分野別評価点：ストラテジ系　300点／1,000点満点 マネジメント系　300点／1,000点満点 テクノロジ系　300点／1,000点満点

出題範囲とその基本的な考え方

①ストラテジ系

情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念などの知識や、高等学校の情報科目、一般的な新聞・書籍・雑誌などに掲載されている基礎的な用語・概念などの知識を問う問題を出題する。また、身近な業務を把握・分析して課題を解決する手法や、データ分析及び問題解決へのオフィスツールの活用に関する基礎的な知識を問う問題を出題する。

②マネジメント系

システム開発やプロジェクトマネジメントのプロセスに関する基礎的な用語・概念などの知識を問う問題を出題し、専門性の高い具体的な用語・概念などの知識を問う問題は出題しない。また、コンピュータやネットワーク、オフィスツールなどを使って、業務環境の整備を考えるための基本的な知識を問う問題を出題する。

③テクノロジ系

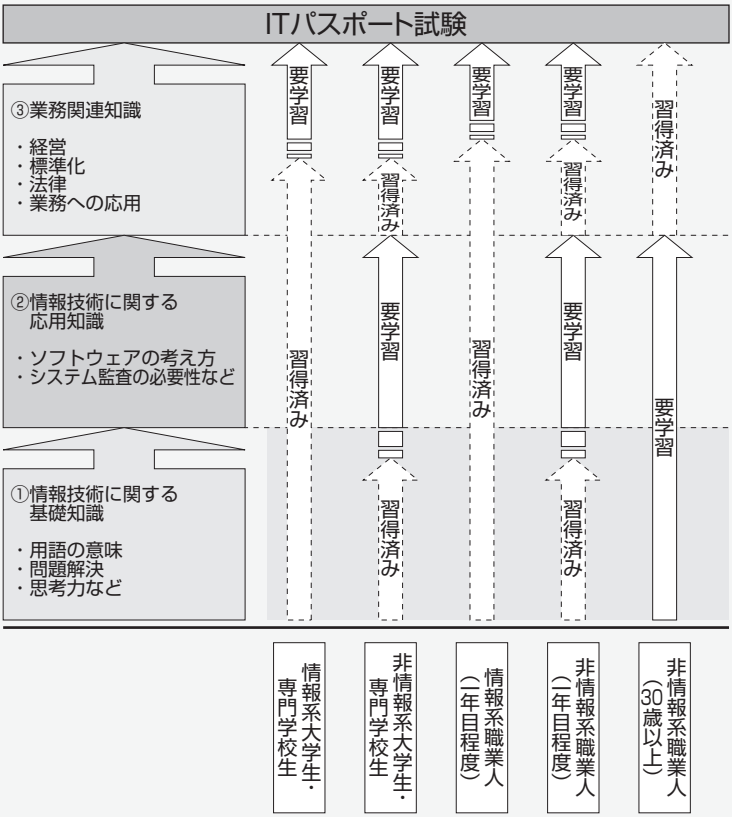
基礎的な用語・概念などの知識や、論理的な思考力を問う問題を出題し、技術的に専門性の高い問題は出題しない。また、身近なシステムの安全な利用に関する基礎的な知識を問う問題を出題する。

●ITパスポート試験の出題範囲

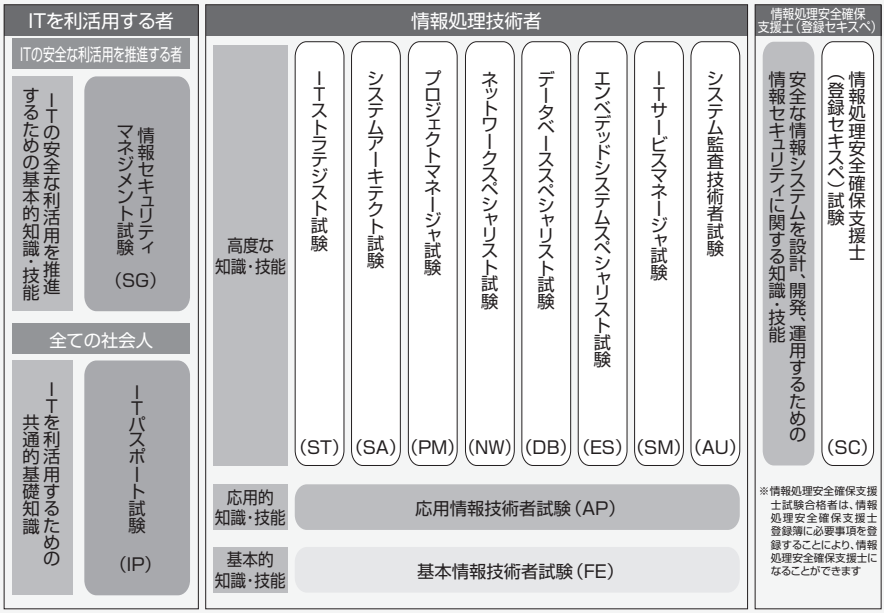
分野	大分類		中分類	
ストラテジ系	1	企業と法務	1	企業活動
			2	法務
	2	経営戦略	3	経営戦略マネジメント
			4	技術戦略マネジメント
			5	ビジネスインダストリ
	3	システム戦略	6	システム戦略
			7	システム企画
マネジメント系	4	開発技術	8	システム開発技術
			9	ソフトウェア開発管理技術
	5	プロジェクトマネジメント	10	プロジェクトマネジメント
	6	サービスマネジメント	11	サービスマネジメント
			12	システム監査

分野	大分類		中分類	
テクノロジ系	7	基礎理論	13	基礎理論
			14	アルゴリズムとプログラミング
	8	コンピュータシステム	15	コンピュータ構成要素
			16	システム構成要素
			17	ソフトウェア
			18	ハードウェア
	9	技術要素	19	ヒューマンインタフェース
			20	マルチメディア
			21	データベース
			22	ネットワーク
			23	セキュリティ

対象受験者層ごとの学習度合いのイメージ



情報処理技術者試験の区分



＜試験区分略号の説明＞

試験区分名称	略号	英語名称
情報処理技術者試験		
ITパスポート試験	IP	Information Technology Passport Examination
情報セキュリティマネジメント試験	SG	Information Security Management Examination
基本情報技術者試験	FE	Fundamental Information Technology Engineer Examination
応用情報技術者試験	AP	Applied Information Technology Engineer Examination
ITストラテジスト試験	ST	Information Technology Strategist Examination
システムアーキテクト試験	SA	Systems Architect Examination
プロジェクトマネージャ試験	PM	Project Manager Examination
ネットワークスペシャリスト試験	NW	Network Specialist Examination
データベーススペシャリスト試験	DB	Database Specialist Examination
エンベデッドシステムスペシャリスト試験	ES	Embedded Systems Specialist Examination
ITサービスマネージャ試験	SM	Information Technology Service Manager Examination
システム監査技術者試験	AU	Systems Auditor Examination
情報処理安全確保支援士試験		
情報処理安全確保支援士試験	SC	Registered Information Security Specialist Examination

問題編

Part 1
ストラテジ系 …… 2

Part 2
マネジメント系 …… 115

Part 3
テクノロジ系 …… 191

Part 1　ストラテジ系

Chapter 1　企業活動

演習1−1 □□□

ITパスポート 平成21年度春 問22

経営理念を説明したものはどれか。

ア．企業が活動する際に指針となる基本的な考え方であり,企業の存在意義や価値観などを示したもの
イ．企業が競争優位性を構築するために活用する資源であり,一般的に人･物･金･情報で分類されるもの
ウ．企業の将来の方向を示したビジョンを具現化するための意思決定計画であり,長期･中期･短期の別に策定されるもの
エ．企業のもつ個性,固有の企業らしさのことで社風とも呼ばれ,長年の企業活動の中で生み出され定着してきたもの

解答編 p346へ

演習1−2 □□□

ITパスポート 平成25年度秋 問11

経営理念に関する記述のうち,最も適切なものはどれか。

ア．1～2年ごとに見直し,修正するものである。
イ．企業の使命や存在意義を表したものである。
ウ．経営計画や経営方針を具体化したものである。
エ．社是,社訓などに明文化されていないものである。

解答編 p346へ

演習1−3 □□□

ITパスポート 令和元年度秋 問12

企業の経営理念を策定する意義として,最も適切なものはどれか。

ア．企業の経営戦略を実現するための行動計画を具体的に示すことができる。
イ．企業の経営目標を実現するためのシナリオを明確にすることができる。
ウ．企業の存在理由や価値観を明確にすることができる。
エ．企業の到達したい将来像を示すことができる。

解答編 p346へ

演習1−4 □□□

ITパスポート 平成31年度春 問21

コーポレートブランドを高める目的として,最も適切なものはどれか。

ア. 企業が有する独自のスキルや技術に基づいて,競合他社では提供が不可能な価値を顧客にもたらすことである。
イ. 企業名などから製品やサービスの品質イメージを連想させることで競争優位性をもたらすことである。
ウ. 経営者や企業が社会に対して,企業の普遍的な価値観,企業活動の基本的な考え方を公表して,ステークホルダの共感を得ることである。
エ. 流通業者の主導権のもとで製造業者などと連携して開発し,生産される独自ブランドの商品を低価格で販売することである。

解答編 p346へ

演習1−5 □□□

ITパスポート 平成30年度秋 問8

小売業A社は,自社の流通センタ近隣の小学校において,食料品の一般的な流通プロセスを分かりやすく説明する活動を行っている。A社のこの活動の背景にある考え方はどれか。

ア. CSR
イ. アライアンス
ウ. コアコンピタンス
エ. コーポレートガバナンス

解答編 p346へ

演習1−6 □□□

ITパスポート 平成21年度秋 問3

CSRに基づいた活動として,最も適切なものはどれか。

ア. 原材料の使用量を減らすとともに,消費電力を少なくした製品を提供する。
イ. 自社製品に新しい機能を付加し,他社製品と差別化した製品を提供する。
ウ. セル生産方式を導入し,市場の多様なニーズに合わせた製品を提供する。
エ. 他企業の買収によって,自社がもっていなかった製品を提供する。

解答編 p347へ

演習1−7 □□□

ITパスポート 令和元年度秋 問35

持続可能な世界を実現するために国連が採択した,2030年までに達成されるべき開発目標を示す言葉として,最も適切なものはどれか。

ア. SDGs　イ. SDK　ウ. SGA　エ. SGML

解答編 p347へ

演習1−8 □□□

ITパスポート 平成30年度春 問34

企業の業務運営におけるPDCAサイクルのうち,業務の実行状況をKPIに基づいて測定,評価するものはどれか。

ア. P　　イ. D　　ウ. C　　エ. A

解答編 p347へ

演習1−9 □□□

ITパスポート 平成28年度秋 問7

大規模な自然災害を想定したBCPを作成する目的として,最も適切なものはどれか。

ア. 経営資源が縮減された状況における重要事業の継続
イ. 建物や設備などの資産の保全
ウ. 被災地における連絡手段の確保
エ. 労働災害の原因となるリスクの発生確率とその影響の低減

解答編 p347へ

演習1−10 □□□

ITパスポート 平成27年度秋 問7

地震,洪水といった自然災害,テロ行為といった人為災害などによって企業の業務が停止した場合,顧客や取引先の業務にも重大な影響を与えることがある。こうした事象の発生を想定して,製造業のX社は次の対策を採ることにした。対策aとbに該当する用語の組合せはどれか。

〔対策〕

a　異なる地域の工場が相互の生産ラインをバックアップするプロセスを準備する。

b　準備したプロセスへの切換えがスムーズに行えるように,定期的にプロセスの試験運用と見直しを行う。

	a	b
ア	BCP	BCM
イ	BCP	SCM
ウ	BPR	BCM
エ	BPR	SCM

解答編 p347へ

演習1ー11 □□□

ITパスポート 平成24年度秋 問6

社員育成方法のうち,Off-JTに分類されるものはどれか。

ア. 現場に権限を与えることによって自主性を生み出す。
イ. 仕事を離れて実施される教育訓練を通じて,知識や技術を習得させる。
ウ. 実際の仕事を通じて計画的に指導・育成し,必要な知識や技術を習得させる。
エ. 質問や簡単なアドバイスを投げかけ,自ら目標に向かって行動を起こすように仕向ける。

解答編 p348へ

演習1ー12 □□□

ITパスポート 平成27年度春 問3

現在担当している業務の実践を通じて,業務の遂行に必要な技術や知識を習得させる教育訓練の手法はどれか。

ア. CDP　イ. e ラーニング　ウ. Off-JT　エ. OJT

解答編 p348へ

演習1ー13 □□□

ITパスポート 平成26年度春 問20

全国の業務担当者を対象として,販売予測システムの利用方法に関する研修を計画している。研修にe-ラーニングを利用することで得られるメリットはどれか。

ア. 業務担当者がシステムの内容を設計担当者から直接受講し,その場で質疑を行える。
イ. 業務担当者が自分の業務の空き時間を利用して,好きなときに受講できる。
ウ. 業務担当者が複数同席し,システムの利用方法について意見を交換できる。
エ. 業務担当者を一堂に集めて,一度で研修できる。

解答編 p348へ

演習1ー14 □□□

ITパスポート 平成30年度春 問7

性別,年齢,国籍,経験などが個人ごとに異なるような多様性を示す言葉として,適切なものはどれか。

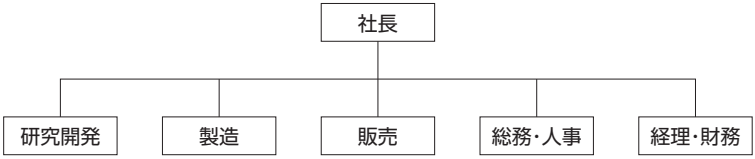
ア. グラスシーリング　イ. ダイバーシティ
ウ. ホワイトカラーエグゼンプション　エ. ワークライフバランス

解答編 p348へ

演習1−15 □□□

ITパスポート 平成28年度秋 問25

図によって表される企業の組織形態はどれか。



ア. 事業部制組織　　イ. 社内ベンチャ組織

ウ. 職能別組織　　エ. マトリックス組織

解答編 p349へ

演習1−16 □□□

ITパスポート 平成27年度春 問26

職能別組織を説明したものはどれか。

ア. ある問題を解決するために必要な機能だけを集めて一定の期間に限って結成し,問題解決とともに解散する組織

イ. 業務を専門的な機能に分け,各機能を単位として構成する組織

ウ. 製品,地域などを単位として,事業の利益責任をもつように構成する組織

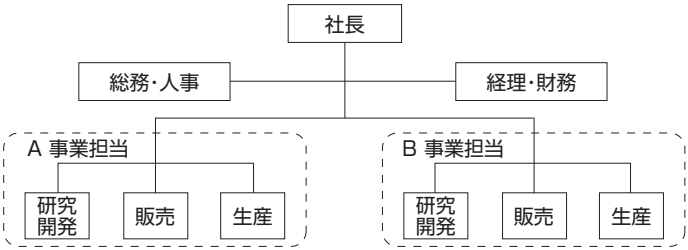
エ. 製品や機能などの単位を組み合わせることによって,縦と横の構造をもつように構成する組織

解答編 p349へ

演習1−17 □□□

ITパスポート 平成24年度秋 問21

図によって表される企業の組織形態はどれか。



ア. 事業部制組織　　イ. 職能別組織

ウ. プロジェクト組織　　エ. マトリックス組織

解答編 p349へ

演習1−18 □□□

ITパスポート 平成21年度秋 問9

2人又はそれ以上の上司から指揮命令を受けるが,プロジェクトの目的別管理と職能部門の職能的責任との調和を図る組織構造はどれか。

ア. 事業部制組織
イ. 社内ベンチャ組織
ウ. 職能別組織
エ. マトリックス組織

解答編 p349へ

演習1−19 □□□

ITパスポート 平成28年度春 問34

次の特徴をもつ組織形態として,適切なものはどれか。
・組織の構成員が,お互い対等な関係にあり,自律性を有している。
・企業,部門の壁を乗り越えて編成されることもある。

ア. アウトソーシング
イ. タスクフォース
ウ. ネットワーク組織
エ. マトリックス組織

解答編 p350へ

演習1−20 □□□

ITパスポート 平成23年度秋 問2

CIOの役割として,最も適切なものはどれか。

ア. 客観的な立場から,自社の業務に問題がないか,ITの統制が有効に機能しているかなどを監査する。
イ. 経営戦略を実現するための情報戦略の立案及び実施を主導する。
ウ. 経営戦略を実現するための人事制度を構築し,勤務の実態を把握するなど管理・運営全般を掌握する。
エ. 自社の資金効率の向上,及び財務会計の正確性を維持する。

解答編 p350へ

演習1−21 □□□

ITパスポート 平成29年度春 問3

経営戦略との整合性を確保した全社的な情報システムの整備計画の策定を行うことになった。この活動の責任者として,最も適切な者はどれか。

ア. CIO
イ. CTO
ウ. 基幹事業の部門長
エ. 情報システム部門の企画担当者

解答編 p350へ

演習1−22 □□□

ITパスポート 平成29年度秋 問23

企業経営に携わる役職の一つであるCFOが責任をもつ対象はどれか。

ア. 技術　イ. 財務　ウ. 情報　エ. 人事

解答編 p350へ

演習1−23 □□□

ITパスポート 平成21年度春 問13

株式会社の最高意思決定機関はどれか。

ア. 株主総会　イ. 監査役会　ウ. 代表取締役　エ. 取締役会

解答編 p351へ

演習1−24 □□□

ITパスポート 平成25年度春 問26

株主総会の決議を必要とする事項だけを,全て挙げたものはどれか。

a 監査役を選任する。
b 企業合併を決定する。
c 事業戦略を執行する。
d 取締役を選任する。

ア. a,b,d　イ. a,c　ウ. b　エ. c,d

解答編 p351へ

演習1−25 □□□

ITパスポート 平成23年度秋 問16

監査役を選任する者又は機関として,適切なものはどれか。

ア. 会計監査人　イ. 株主総会　ウ. 社長　エ. 取締役会

解答編 p351へ

演習1−26 □□□

ITパスポート 平成26年度秋 問26

監査役の役割の説明として,適切なものはどれか。

ア. 公認会計士の資格を有して,会社の計算書類を監査すること
イ. 財務部門の最高責任者として職務を執行すること
ウ. 特定の事業に関する責任と権限を有して,職務を執行すること
エ. 取締役の職務執行を監査すること

解答編 p351へ

演習1−27 □□□

ITパスポート 平成23年度秋 問14

パレート図の説明として,適切なものはどれか。

ア. 作業を矢線で,作業の始点／終点を丸印で示して,それらを順次左から右へとつなぎ,作業の開始から終了までの流れを表現した図
イ. 二次元データの値を縦軸と横軸の座標値としてプロットした図
ウ. 分類項目別に分けたデータを件数の多い順に並べた棒グラフで示し,重ねて総件数に対する比率の累積和を折れ線グラフで示した図
エ. 放射状に伸びた数値軸上の値を線で結んだ多角形の図

解答編 p351へ

演習1−28 □□□

ITパスポート 平成29年度秋 問8

不良品や故障,クレームなどの件数を原因別や状況別に分類し,それを大きい順に並べた棒グラフと,それらの累積和を折れ線グラフで表した図はどれか。

ア. 管理図　イ. 系統図　ウ. パレート図　エ. マトリックス図

解答編 p352へ

演習1−29 □□□

ITパスポート 平成23年度春 問11

製造業のA社では,製品の組立てに必要な部品を購買している。A社では,自社の仕入金額全体に占める割合が大きい部品を,重点的に在庫管理を行う対象として選びたい。このとき利用する図表として,適切なものはどれか。

ア. ガントチャート
イ. 管理図
ウ. 特性要因図
エ. パレート図

解答編 p352へ

演習1−30 □□□

ITパスポート 平成26年度春 問14

ABC分析で使用する図として,適切なものはどれか。

ア. 管理図　イ. 散布図　ウ. 特性要因図　エ. パレート図

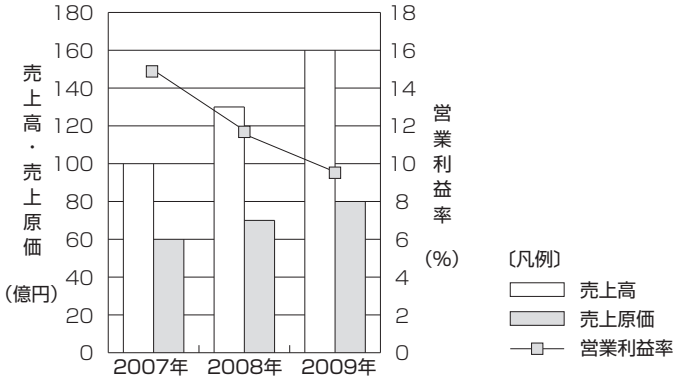
解答編 p352へ

演習1−31 □□□

ITパスポート 平成23年度春 問18

A社の3年間の業績推移を示すグラフに関して,次の記述中のa,bに入れる字句の適切な組合せはどれか。

売上高に対する,売上原価の比率は [a] 傾向,販売費及び一般管理費の比率は [b] 傾向である。



	a	b
ア	減少	減少
イ	減少	増加
ウ	増加	減少
エ	増加	増加

解答編 p352へ

演習1−32 □□□

ITパスポート 平成25年度秋 問15

クラスの学生の8科目の成績をそれぞれ5段階で評価した。クラスの平均点と学生の成績の比較や,科目間の成績のバランスを評価するために用いるグラフとして,最も適切なものはどれか。

ア. 円グラフ
イ. 散布図
ウ. パレート図
エ. レーダチャート

解答編 p353へ

演習1−33 □□□

ITパスポート 平成28年度春 問32

品質管理において,測定値の存在する範囲を幾つかの区間に分け,各区間に入るデータの度数を棒グラフで表したものはどれか。

ア. 管理図　　イ. 特性要因図
ウ. パレート図　　エ. ヒストグラム

解答編 p353へ

演習1−34 □□□

ITパスポート 平成24年度秋 問8

2種類のデータの関係性を表すことを目的として用いるものはどれか。

ア. 決定表　　イ. 散布図
ウ. 特性要因図　　エ. パレート図

解答編 p353へ

演習1−35 □□□

ITパスポート 平成26年度秋 問16

企業経営の意思決定を支援するために,目的別に編成された,時系列データの集まりを何というか。

ア. データウェアハウス　　イ. データセンタ
ウ. データフローダイアグラム　　エ. データマイニング

解答編 p353へ

演習1−36 □□□

ITパスポート 平成24年度秋 問5

経営判断や業務遂行などに活用するために,データベースに蓄積された顧客の購買履歴などのデータを分析して,有用な情報を抽出する手法はどれか。

ア. データクレンジング　　イ. データマイニング
ウ. データマネージング　　エ. データモデリング

解答編 p354へ

演習1−37 □□□

ITパスポート 平成27年度春 問6

ビジネスに関わるあらゆる情報を蓄積し,その情報を経営者や社員が自ら分析し,分析結果を経営や事業推進に役立てるといった概念はどれか。

ア. BI　　イ. BPR　　ウ. EA　　エ. SOA

解答編 p354へ

演習1−38 □□□

ITパスポート 平成23年度春 問9

データマイニングの事例として,適切なものはどれか。

ア. ある商品と一緒に買われることの多い商品を調べた。
イ. ある商品の過去3年間の月間平均売上高を調べた。
ウ. ある製造番号の商品を売った販売店を調べた。
エ. 売上高が最大の商品と利益が最大の商品を調べた。

解答編 p354へ

演習1−39 □□□

ITパスポート 平成21年度秋 問4

データマイニングとは,データベースに蓄積されている大量の生データに対し,統計やパターン認識などの手法を用いることによって,認識されていなかった規則性や関係性を導き出す技術である。データマイニングの応用分野として,最も適切なものはどれか。

ア. 顧客に応じた商品の推薦
イ. 生産計画に基づく製造機械の割当て
ウ. 店舗別商品カテゴリ別の売上高の集計
エ. 累計購買金額による優良顧客の抽出

解答編 p354へ

演習1−40 □□□

ITパスポート 平成30年度春 問15

1個の製品Pは2個の部品Qで構成され,部品Qは4個の部品Rで構成されている。部品Qは1個,部品Rは3個の在庫があるとき,製品Pを6個生産するには,部品Rはあと何個必要か。

ア. 41　イ. 44　ウ. 45　エ. 48

解答編 p355へ

演習1−41 □□□

ITパスポート 平成29年度春 問5

製品Aを1個生産するためには,外部から調達する部品Bを1個必要とする。部品Bは,毎月の第1営業日に発注し,その月の最終営業日に納品され,翌月以降の生産に使用される。製品Aの4月から3か月間の生産計画が表のとおりであるとき,5月の第1営業日に部品Bを最低何個発注する必要があるか。ここで,3月末の部品Bの在庫は6,000個であり,4月第1営業日に6,000個の発注を行っているものとする。また,仕掛残及び安全在庫は考えないものとする。

	3月	4月	5月	6月
製品Aの生産計画		5,000個	6,000個	7,000個
部品Bの発注量		6,000個		
部品Bの月末在庫量	6,000個			

注記　網掛け部分は,表示していない。

ア. 5,000　　イ. 6,000　　ウ. 7,000　　エ. 8,000

解答編 p355へ

演習1−42 □□□

ITパスポート 平成23年度秋 問26

ある商店で販売している商品Aの1週間の売上個数の分布は表のとおりである。商品Aの発注から納入までのリードタイムが1週間のとき,品切れになる確率を10%未満にするため,発注時に最低限必要な在庫は幾つか。

売上個数	86	87	88	89	90	91	92	93	94	分布計
分布(%)	1	5	11	20	26	20	11	5	1	100

ア. 87　　イ. 88　　ウ. 92　　エ. 93

解答編 p355へ

演習1−43 □□□

ITパスポート 令和元年度秋 問26

製品Aの生産計画量,部品Bの総所要量及び在庫量が表のとおりであるとき,第2週における部品Bの発注量aは何個か。

〔条件〕

・製品Aの生産リードタイム(着手から完成までの期間)は無視する。
・製品Aを1個生産するためには部品Bが2個必要であり,部品Bは製品Aの生産以外には使われない。
・部品Bの発注は,各週の生産終了後に行い,翌週の生産開始までに入荷する。
・部品Bの安全在庫は,当該週の部品Bの総所要量の25%とする。
・部品Bの第1週の生産開始前の在庫量を100個とする。

単位　個

	第1週	第2週	第3週
製品Aの生産計画量	40	40	20
部品Bの総所要量	80	80	40
部品Bの在庫量 (生産終了後)	20		
部品Bの発注量		a	

注記　網掛けの部分は表示していない。

ア. 30　　イ. 40　　ウ. 60　　エ. 80

解答編 p356へ

演習1−44 □□□

ITパスポート 平成28年度秋 問15

複数人が集まり,お互いの意見を批判せず,質より量を重視して自由に意見を出し合うことによって,アイディアを創出していく技法はどれか。

ア. ブレーンストーミング　　イ. ベンチマーキング
ウ. ロールプレイング　　エ. ワークデザイン

解答編 p356へ